

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	長寿社会課	職	課長	氏名	瀬戸 裕之
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進	いしかわ長寿大学の学科改編後の修了者数(累計)	人	700 (R1)	624 (H30)	(R1)	
施策2	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備	地域見守りネットワーク協定締結事業者数	事業者	70 (R1)	67 (H30)	(R1)	
		生活支援コーディネーター配置数	人	65 (R7)	87 (H30)	(R1)	
		認知症サポーター数	人	130,000 (R7)	111,866 (H30)	(R1)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	高齢者の健康づくりと介護予防・生きがいづくりの推進	ゆーりんピック参加者数(累計)	人	50,000 (R5)	— (H30)	(R1)	1 ゆーりんピック2019開催事業費	県内高齢者	12,825		
			いしかわ長寿大学の学科改編後の修了者数(累計)	人	700 (R1)	624 (H30)	(R1)	2 生きがいと健康づくり推進事業費補助金	県内高齢者	55,421		
施策2	課題1	介護サービス従事者の人材育成・定着促進	いしかわ介護フェスタ来場者数	人	6,000 (R6)	4,200 (H30)	(R1)	1 いしかわ介護フェスタ開催事業費	一般県民	5,500		
			出前講座講師派遣数(累計)	人	310 (R6)	132 (H30)	(R1)	2 実践介護技術出前講座事業費	介護事業所	1,000		
			研修受講者数(累計)	人	600 (R3)	— (H30)	(R1)	3 ICT・IoTを活用した介護人材定着促進事業費	介護事業所及び従事者等	14,500		
	課題2	在宅高齢者保健福祉対策	研修受講者数(累計)	人	1,800 (R2)	940 (H30)	(R1)	1 認知症介護サービス向上推進事業費	介護サービス従事者	1,000		
			認知症サポーター数	人	130,000 (R7)	111,866 (H30)	(R1)	2 認知症地域サポート体制構築事業費	医療・介護関係団体等	1,512		
			地域見守りネットワーク協定締結事業者数	事業者	70 (R1)	67 (H30)	(R1)	3 在宅高齢者見守り等支援事業費	事業者等	600		
			認知症カフェ設置市町数	市町	19 (R1)	16 (H30)	(R1)	4 認知症カフェ運営セミナー開催事業費	市町職員等	1,000		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ゆーりんピック2019開催事業費	事業開始年度	H23	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	計画等			

作成者	組織	長寿社会課			
	職・氏名	主事 山崎 詩織			
	電話番号	076 - 225 - 1487 内線 4057			

事業の背景・目的

「ねんりんピック石川2010」の開催を契機に、従来の大会(ゆうゆう石川スポーツ・文化交流大会)を拡充し、地域や世代を超えた交流を深められるスポーツ・文化の交流大会「ゆーりんピック」を開催し、高齢者の積極的な健康づくりと生きがいづくりの効用を図ることを目的とする。

事業の概要

(1) 大会期間
5/11,12,15,16,17,18,19,26

(2) 内容

① 開会式 5/18 会場:金沢城公園三の丸広場
開会式イベントとして
・ふれあい広場(ニュースポーツ体験コーナー、体力測定・ストレッチ講習コーナー、障害者就労施設商品展示・販売ブース、長寿生きがいセンターサークル活動体験コーナー)

② スポーツ・文化交流大会(県内在住の60歳以上限定)
・スポーツ交流大会(卓球、テニス等の22種目)
・文化交流大会(囲碁、将棋等の5種目)
・美術展

③ 一般参加型イベント
・スポーツ・文化交流大会(②のうち、パークゴルフ、俳句等の11種目)(年齢の制限なし)
・ウォーキング

(3) 会場
いしかわ総合スポーツセンター、北部公園など21会場

(4) 参加規模
約10,000人

(5) 交付先
ゆーりんピック実行委員会

施策・課題の状況						
施策	高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進				評価	
課題	高齢者の健康づくりと介護予防・生きがいづくりの推進					
	指標	ゆーりんピック参加者数(累計)			単位	人
	目標値	現状値				
	令和5年度	平成25年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	50,000	-	-	-	-	

事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	12,825	12,825	12,825	12,825	12,825
	決算	12,825	12,505	12,195	12,222	
一般財源	予算	12,825	12,825	12,825	12,825	12,825
	決算	12,825	12,505	12,195	12,222	
事業費累計	70,075	82,580	94,775	106,997	119,822	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	生きがいと健康づくり推進事業費補助金	事業開始年度	H24	事業終了予定年度		作成者	組織	長寿社会課	
		根拠法令・計画等	石川県補助金交付規則		職・氏名		主事 山崎 詩織		電話番号

事業の背景・目的
 明るく活力ある長寿社会の実現に向けて、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、各種事業の積極的な展開を図る。

事業の概要
 (1) 生きがいと健康づくり事業
 ①いしかわ長寿大学の開催
 すべての県民が生きがいある豊かなセカンドライフを創造できるよう、高齢者に生涯学習の機会を提供し、地域の高齢者福祉を推進するリーダーを養成する。
 ・会場: 石川中央校、能登中部校、能登北部校
 ・開講期間: R1.10月～R2.9月
 ・講座内容: 高齢者の生きがい・健康づくり、一般教養 等

②全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団派遣
 高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会づくりのため毎年開催されている全国健康福祉祭(ねんりんピック)に選手・役員を派遣する。
 →派遣予定人数 27種目 213名

(2) 管理運営費
 社会福祉会館別館(金沢市八田町)の管理運営費

(3) 交付先
 社会福祉法人 石川県社会福祉協議会

施策・課題の状況						
施策	高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進				評価	
課題	高齢者の健康づくりと介護予防・生きがいづくりの推進					
	指標	いしかわ長寿大学の学科改編後の修了者数(累計)			単位	人
	目標値	現状値				
	令和1年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	700	136	307	482	624	

事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	62,100	66,973	66,284	56,893	55,421
	決算	58,577	60,812	54,913	52,276	
一般	予算	62,100	66,973	66,284	56,893	55,421
	決算	58,577	60,812	54,913	52,276	
財源	決算	58,577	60,812	54,913	52,276	
事業費累計		192,817	253,629	308,542	360,818	416,239

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性	
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性	
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ介護フェスタ開催事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度		作 組 織 長寿社会課
	根拠法令 ・計画等				成 職・氏名 主事 上田 友里加
					者 電話番号 076 - 225 - 1416 内線 4053

事業の背景・目的

今後、ますます進展する高齢社会における「介護」をテーマに、参加・体験型のイベントなどを行い、若い世代をはじめとした一般県民に、介護の仕事の魅力や重要性を伝えることで、介護に対する理解を深め、介護分野全体のイメージアップを図る。

事業の概要

内容
 日時 10月12日(土)
 場所 県産業展示館1号館

- ①介護技能グランプリ
 - ・介護施設の職員が、食事・入浴・排泄の部門ごとに介護の知識と技能を競い合うコンテストを行う。
 - ・各部門最優秀者及び優秀者に対して、表彰を行う。
- ②介護の情報発信コーナー
 - ・介護保険のサービス内容をパネル展示するほか、現場で働く職員の様子などをビデオで紹介
- ③介護団体・養成校コーナー
 - ・各団体の活動内容のPRや、養成校の紹介や専攻コースのPR
- ④福祉機器・介護ロボットコーナー
 - ・福祉用具の展示や、介護ロボット体験コーナーの設置による普及・啓発
- ⑤ステージイベント
 - ・将来の介護を担う学生たちが行う介護に関する取組紹介、市町の取組紹介(介護予防体操など)等
- ⑥介護のお仕事体験ラリー
 - ・来場した小学生の親子が車いす移動体験や食事介助体験など、介護にまつわるお仕事をスタンプラリー形式で体験

施策・課題の状況						
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備					評価
課題	介護サービス従事者の人材育成・定着促進					
	指標	いしかわ介護フェスタ来場者数			単位	人
	目標値	現状値				
		令和6年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		6,000	3,500	3,800	3,800	4,200
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
	決算	5,500	5,500	5,500	5,500	
一般	予算	0	0	0	0	0
	決算	0	0	0	0	
財源	決算	0	0	0	0	
事業費累計		5,500	11,000	16,500	22,000	27,500
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 実践介護技術出前講座事業費	事業開始年度 H27	事業終了予定年度	作 組 織 長寿社会課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名 主事 西田 美穂 者 電話番号 076 - 225 - 1487 内線 4056

事業の背景・目的

小規模事業所では、代替職員の確保が難しく、現場の職員が施設を離れ県等が実施する研修に参加することがなかなかできない。
これらの問題を解消するため、介護福祉士養成施設の教員や優れた介護職員等を事業所に派遣する。

1 事業の概要

(1) 介護福祉士養成施設の教員や「介護技能グランプリ」の成績優秀者等が小規模事業所等を訪問し、介護技術等を指導することにより、職員のスキルアップを目指す。

○ 講師及び指導内容

①介護福祉士養成施設(アリス学園など)の教員や優れた介護職員
→ 正しい介護の知識・技術を指導

②介護技能グランプリの成績優秀者
→ 実践的で優れた介護技術を指導

(2) 認知症ケアの専門的な知識・技術を有する介護職員等がアドバイザーとして小規模事業所等を訪問し、認知症ケアについて指導することにより、職員の認知症への理解と介護技術の向上を図る。

○ 講師及び指導内容

・認知症介護指導者養成研修修了者等
→ 認知症ケア(疾患別ケアの手法、家族支援スキル等)を指導

2 派遣対象事業所
県実施研修等への参加が難しい小規模な事業所

3 スケジュール

(1) 養成施設教員や「介護技能グランプリ」成績優秀者等の派遣

- ・R1年 6月 第1次募集開始 派遣:7月～11月
- ・R1年10月 第2次募集開始 派遣:12月～R2年2月

(2) 認知症介護指導者養成研修修了者等の派遣

- ・R1年 6月 募集開始 派遣:8月～R2年2月

施策・課題の状況						
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備					評価
課題	介護サービス従事者の人材育成・定着即促進					
	指標	出前講座講師派遣数(累計)				単位
	目標値	現状値				人
	令和6年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	310	31	75	95	132	
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	決算	463	637	321	523	
一般	予算	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	決算	463	637	321	523	
財源	決算	463	637	321	523	
事業費累計		436	1,073	1,394	1,917	1,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ICT・IoTを活用した介護人材定着促進事業費	事業開始年度	R1	事業終了予定年度		作 組 織	長寿社会課
		根拠法令 ・計画等				成 職・氏名	主事 伊藤 慧太
						者 電話番号	076 - 225 - 1416 内線 4054

事業の背景・目的

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向け、新規職員の確保のみならず、現在働いている職員の定着促進のため、職場環境の向上を図っていく必要がある。こうした中、ICTやIoTを活用し介護職員の負担軽減に取り組んでいる事業所がいくつかあるものの、多くの事業所では導入の具体的なメリットがイメージできない等の課題を抱え導入に踏み切れていない状況である。

このため、県内先進モデル施設における体験会の開催等により、介護事業所におけるICT・IoT機器の導入促進を図っていく。

事業の概要

(1) 各事業所での導入を推進する旗振り役職員の養成研修
 委託先:(一社)日本福祉用具供給協会
 内 容: ・機器の機能や活用方法等の解説
 ・先進事業所職員による導入事例の紹介 等

<スケジュール>
 7月 第1回研修(定員100名程度)
 10月 第2回研修(定員100名程度)

(2) モデル事業所におけるICT・IoT機器を活用した実際の業務を見て、触れることで効果を実感し、具体的な導入イメージを持っていただく体験会の開催
 モデル候補先:施設系介護保険事業所(加賀、能登、金沢各1施設程度)
 整備費用助成:タブレット、見守りセンサ機器等の充実に要する費用の2分の1以内を助成

<スケジュール>
 6月 モデル施設の決定
 整備費用助成の交付決定、導入機器の効果測定開始
 12月～モデル施設における報告会・体験会(周辺事業所から30名程度の参加を想定)

施策・課題の状況							
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備				評価		
課題	介護サービス従事者の人材育成・定着促進						
	指標	研修受講者数(累計)				単位	人
	目標値	現状値					
	令和3年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	600						
事業費							
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算					14,500	
	決算						
財源	予算					0	
	決算						
事業費累計		0	0	0	0	14,500	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 認知症介護サービス向上推進事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	計画等			

作	組	織	長寿社会課		
成	職	氏名	専門員 大松 義和		
者	電話番号	076 - 225 - 1417 内線 4048			

事業の目的

本県では、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年を見据え、介護職員23,000人の確保に向け、介護人材の確保と質の向上に取り組んでいる。特に、介護事業所等においては、今後認知症高齢者の割合が増加していくことが見込まれることから、認知症への対応力を一層向上することが求められている。

本研修は、在宅認知症高齢者の多くが利用する通所介護等の介護事業所において、介護職員が認知症について十分に理解し、それぞれの高齢者の状態に応じた適切なケアができるよう、認知症介護の基本についての研修を実施し、サービスの質の向上を図ることにより、認知症の重度化防止に資することを目的としている。

事業の概要

認知症介護サービス向上研修事業(集合研修)

講師候補 認知症介護指導者養成研修修了者等

対象者 介護サービス従事者(初任者やこれから介護サービスに従事する人向け)

開催回数 1日間×6回

これまでの見直し状況
(R1)
事務効率化のため、事業所訪問研修を同じく事業所を対象とする実践介護技術出前講座事業に統合。

施策・課題の状況						
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備				評価	
課題	在宅高齢者保健福祉対策					
	指標	研修受講者数(累計)			単位	人
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1,800	155	460	720	940	

事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	2,000	2,000	1,600	1,600	1,000
	決算	1,919	1,606	1,316	1,101	
一般財源	予算					
	決算					
事業費累計		1,919	3,525	4,841	5,942	6,942

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 認知症地域サポート体制構築事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			

作	組	織	長寿社会課		
成	職	氏名	主任主事 竹内 祥悟		
者	電話番号	076 - 225 - 1498 内線 4045			

事業の背景・目的
 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会を目指し、県全体で地域における支援体制の構築に向けた取り組みを進める。

事業の概要

1 認知症施策推進体制の構築

(1) 石川県認知症施策推進会議
 地域支援体制の構築に向け、医療・介護・福祉の関係機関・団体等により課題整理・施策検討を行う。
 (構成) 学識経験者、医療・介護関係団体、経済団体、地域団体、家族会の代表者 14名

(2) 石川県認知症高齢者等地域支援ネットワーク推進連絡会議
 幅広い関係機関・団体と情報共有し、地域支援体制の充実に向けた施策推進協力を依頼する。
 (構成) 学識経験者、医療・介護関係団体、経済団体、地域団体、家族会、行政の代表者 39名

2 石川県認知症フォーラムの開催

地域における支援の担い手の育成と効果的な活動のために、先進事例や取組事例等を踏まえて学ぶとともに、担い手相互の情報共有・意見交換を行う。
 (対象者) 民生委員、認知症サポーター、NPOなど地域活動に関わる者、行政関係者 等
 (内容) 基調講演、分科会
 (定員) 500名程度

3 認知症ハートフル企業・団体認定

一定の登録要件を満たす地域の企業・団体を「認知症ハートフルサポート企業」として認定する。認定企業・団体については、県のホームページに掲載するとともに、ステッカーを交付し、店舗や事務所等に掲示してもらう。
 (登録要件)
 認知症高齢者にやさしい企業・団体であることを宣言し(必須)、以下の取り組みを実施する。
 ①市町が実施する認知症サポーター養成講座の受講
 ②地域見守りネットワーク、徘徊・見守りSOSネットワークへの参画など企業・団体の特性に応じた取組

①又は② → シルバー認定
 ①及び② → ゴールド認定

施策・課題の状況						
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備					評価
課題	在宅高齢者保健福祉対策					
	指標	認知症サポーター数			単位	人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	130,000	73,214	87,556	100,200	111,866	
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	2,500	3,300	2,600	2,400	1,512
	決算	2,166	1,453	1,358	1,715	
一般	予算	1,250	2,150	1,300	1,200	756
	決算	1,083	728	679	885	
財源	決算	1,083	728	679	885	
事業費累計		2,166	3,619	4,977	6,692	8,204
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
今後の方向性						
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 在宅高齢者見守り等支援事業費	事業開始年度	H23	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			

作成者	組織	長寿社会課	職・氏名	主任主事 竹内 祥悟	電話番号	076 - 225 - 1498	内線	4045
-----	----	-------	------	------------	------	------------------	----	------

■事業の背景・目的

ひとり暮らし高齢者の孤立化防止等ため、電気・ガス事業者など民間事業者と連携した地域見守りネットワークの構築事業のほか、会話する中で安心感を与えることができる傾聴ボランティア養成事業や、医療・介護サービス等の利用実績がない75歳以上の高齢者宅を、必要に応じて市町保健師が訪問し、必要なサービス利用につなげる「お達者ですか訪問事業」を実施する。また、地域見守りネットワークの着実な推進や ボランティア及び市町職員への研修の実施により、市町における体制整備を支援する。

■事業の概要

【内容】

○在宅高齢者の見守り等の支援

①地域の見守り活動の促進(地域見守りネットワーク)

- ・ネットワーク企業の拡大(H30年度末現在:67社)
- ・企業への研修、市町との意見交換会の実施

②傾聴ボランティアの養成

- ・認知症高齢者の傾聴講座
- 対象: 傾聴ボランティアとして活動している方、傾聴活動に興味のある方
- 研修講師 (NPO)ホールファミリーケア協会(東京都千代田区)

③お達者ですか訪問事業への支援

- ・医療や介護サービスの利用実績や健康診断の受診がない75歳以上の高齢者の情報を市町に提供し、当該高齢者の中から孤立が疑われる者を、市町の保健師等が訪問するなどし、必要なサービス利用につなげる。
- ・事業の報告会を開催し、市町の取組を支援する。

施策・課題の状況						
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備					評価
課題	在宅高齢者保健福祉対策					
	指標	地域見守りネットワーク協定締結事業者数			単位	事業者
	目標値	現状値				
	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	70	60	61	63	67	
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	900	660	700	700	600
	決算	781	436	439	373	
一般財源	予算	0	0	0	0	0
	決算	0	0	0		
事業費累計		781	1,217	1,656	2,029	2,629
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性		(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)			
	今後の方向性		(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 認知症カフェ運営セミナー開催事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			

作	組	織	長寿社会課		
成	職	氏名	主任主事 竹内 祥悟		
者	電話番号	076 - 225 - 1498 内線 4045			

■事業の背景・目的

認知症の進行を遅らせるためには、出来る限り早期に適切な医療・介護につなぐ必要があるが、デイサービスなどの介護サービスは身体機能のしっかりした軽度の認知症の方には馴染まないものが多く、その結果、自宅で閉じこもりがちになり、認知症が進行する。
このため、軽度の認知症の方向けに自宅以外の居場所となる「認知症カフェ」を作ること、閉じこもりを防止するほか外出の機会ができ、認知症の進行の抑制につながることが期待されている。

■事業の概要

認知症カフェの研究者や先進的な取組を行っている運営者を講師として招き、認知症の方にとって居心地のよいカフェ運営に必要なノウハウの習得を目指したセミナーを開催する。

(目的) 市町における認知症カフェの担い手養成
 (対象者) 認知症カフェ設置者及び設置希望者(市町職員、施設職員等)
 (内容) 認知症カフェにおける認知症当事者・家族への対応ノウハウ、先進事例の紹介

施策・課題の状況						
施策	高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備				評価	
課題	在宅高齢者保健福祉対策					
	指標	認知症カフェ設置市町数			単位	市町
	目標値	現状値				
	令和元年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	19	12	14	16	16	
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算				1,000	1,000
	決算				393	
一般財源	予算				500	500
	決算				197	
事業費累計		0	0	0	393	1,393
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						